



## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	飼料用米 （基幹作物）	飼料用米助成	一般品種の取組面積のうち、翌年産で多収品種に取組むため、多収品種の種子確保を行う面積	(6年度) 0ha	(8年度) 5ha
			多収品種による取組面積	(6年度) 70ha	(8年度) 65ha
			生産コスト	(6年度) 123,808円/10a	(8年度) 108,885円/10a
2	アスパラガス （基幹作物）	地域振興作物助成	アスパラガスの作付面積	(6年度) 0.2ha	(8年度) 0.2ha
	きゅうり （基幹作物）		きゅうりの作付面積	(6年度) 1.6ha	(8年度) 1.9ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

## 7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 福島県

協議会名 国見町地域農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	飼料用米助成	1	5,000	飼料用米(基幹作物)	多収品種又は、翌年産の多収品種作付の確認ができるもの
2	地域振興作物助成	1	12,000	アスパラガス・きゅうり(基幹作物)	出荷・販売を行うこと

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。